

日誌

日誌 02月24日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.7°C 体調良好
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00
場所	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名

日誌

日誌 02月24日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 02月24日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照〕	
処方せんに基づく調剤	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3 (1) 参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
独自評価	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 02月24日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 02月25日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.2°C																				
欠席・遅刻・早退の理由																					
1日のスケジュール	<table border="1"> <tr> <td>8:00</td><td></td></tr> <tr> <td>9:00</td><td>1週間のフィードバック</td></tr> <tr> <td>10:00</td><td>OTCを調べる</td></tr> <tr> <td>11:00</td><td>SEA記入</td></tr> <tr> <td>12:00</td><td>地域食堂</td></tr> <tr> <td>13:00</td><td>到達度評価</td></tr> <tr> <td>14:00</td><td>到達度評価</td></tr> <tr> <td>15:00</td><td>服薬指導</td></tr> <tr> <td>16:00</td><td>服薬指導</td></tr> <tr> <td>17:00</td><td>SOAP</td></tr> </table>	8:00		9:00	1週間のフィードバック	10:00	OTCを調べる	11:00	SEA記入	12:00	地域食堂	13:00	到達度評価	14:00	到達度評価	15:00	服薬指導	16:00	服薬指導	17:00	SOAP
8:00																					
9:00	1週間のフィードバック																				
10:00	OTCを調べる																				
11:00	SEA記入																				
12:00	地域食堂																				
13:00	到達度評価																				
14:00	到達度評価																				
15:00	服薬指導																				
16:00	服薬指導																				
17:00	SOAP																				
場所	薬局(よもぎ薬局)																				
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(1)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(1)名																				
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(1)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名																				

日誌

日誌 02月25日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> SOAPを自力でまとめる。</p> <p><実習内容・実務の背景や薬物治療に関する考察> OTC医薬品について、先週に続き、糖尿病の患者さんでも使える風邪薬を調べた。 地域食堂では啓発活動に参加した。地域の方と関わったり、病院やOTC医薬品との付き合い方についての話を聞いた。 到達度評価では、ルーブリックを用いて、現時点での到達度のフィードバックをもらった。 服薬指導は1件行った。白血病の患者家族に薬の説明をし、SOAPをまとめた。 その場にいない患者さんの情報をどのように引き出し、考察するかを学んだ。</p>
----------	--

日誌

日誌 02月25日 東邦大学 学籍番号(1021236) 氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
チーム医療への参画		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	<input type="radio"/>
	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
独自評価	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 02月25日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<p>SOAPを自力でまとめられなかった。 服薬指導で話を広げることができず、0の情報を十分に引き出せなかつたため、最終的にAPの構築で方向性が定まらず苦労した。自分の言葉で表現することに自信がなく、うまく書けなかつた。 服薬指導が苦手で、投薬を避けてしまつた。まずは患者さんとの対話から逃げないようにしたい。服薬指導には積極的に取り組んで、色んな患者さんと話せる機会を大切にしたい。</p> <p>到達度評価を受けて、薬剤師として働くために必要な目標について自分が十分に理解できていなかつたことを実感した。</p>
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>到達度評価で色々と目標が見えてきたのではないでしょか。 湯口さんは自分で考えてよりしっかり考えているところがあります。 おそらくそれを言語化して患者さんに話すのがまだまだ練習中と言うところだと思います。</p> <p>ぜひいろんな患者さんにトライして学んでいきましょう。</p> <p>智弘 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 02月26日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 35.3°C 体調良好																				
欠席・遅刻・早退の理由																					
1日のスケジュール	<table border="1"> <tr> <td>8:00</td><td></td></tr> <tr> <td>9:00</td><td>ロールプレイ</td></tr> <tr> <td>10:00</td><td>服薬指導</td></tr> <tr> <td>11:00</td><td>調剤 納品</td></tr> <tr> <td>12:00</td><td>昼休み</td></tr> <tr> <td>13:00</td><td>調剤</td></tr> <tr> <td>14:00</td><td>散剤の調製</td></tr> <tr> <td>15:00</td><td>小児在宅訪問</td></tr> <tr> <td>16:00</td><td>SOPの振り返り 在宅医療の振り返り</td></tr> <tr> <td>17:00</td><td>1日の振り返り</td></tr> </table>	8:00		9:00	ロールプレイ	10:00	服薬指導	11:00	調剤 納品	12:00	昼休み	13:00	調剤	14:00	散剤の調製	15:00	小児在宅訪問	16:00	SOPの振り返り 在宅医療の振り返り	17:00	1日の振り返り
8:00																					
9:00	ロールプレイ																				
10:00	服薬指導																				
11:00	調剤 納品																				
12:00	昼休み																				
13:00	調剤																				
14:00	散剤の調製																				
15:00	小児在宅訪問																				
16:00	SOPの振り返り 在宅医療の振り返り																				
17:00	1日の振り返り																				
場所	薬局(よもぎ薬局)、患者宅																				
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(1)名																				
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(1)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(1)名、その他(0)名																				

日誌

日誌 02月26日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標></p> <ul style="list-style-type: none">・SOAPを自力で書く・服薬指導で積極的に話す <p><実習内容></p> <ul style="list-style-type: none">・ロールプレイを通して、患者さんがもつコンテクストをどのようにして探るかを考えた。・服薬指導では、睡眠薬と抗凝固薬の投薬を行った。・散剤の調製で、カロナール細粒50 % 主薬量 200 mg を、カロナール細粒 20 % で計算して調整した。・小児在宅医療では、医療的ケア児を訪問をし、患者さんやご家族とのやり取りを見学した。・疑義照会の FAX を送る予定を軽く立てた。 <p><小児在宅医療にいった感想></p> <p>患者さんのご自宅には、医療機器や薬などがたくさんあって、ご家族が薬の管理やケアにどれほどの労力を注いでいるかが伝わってきた。</p> <p>でも、何よりも印象的だったのは、ご家族の日常と愛情が感じられる温かい空間だったことと、訪問PTさんが来たときに患者さんが嬉しそうに反応した瞬間だった。その時に、医療がどれだけ寄り添うものであるべきかを再認識した。</p> <p>一方で、今回の在宅医療の現場と大学病院のスタッフでは、温度差があるようにも感じた。多忙な環境もあるとは思うが、「どこまでが自分の仕事か」という認識が異なる部分があるのでないかと思う。自分の専門性だけでなく、枠を超えて力になりたいという気持ちでつながらないと、患者さんやご家族に必要な支援を届けることはできないと思った。</p>
----------	--

日誌

日誌 02月26日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	<input type="radio"/>
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	<input type="radio"/>
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	<input type="radio"/>
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	<input type="radio"/>
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	<input type="radio"/>
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	<input type="radio"/>
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	<input type="radio"/>
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	<input type="radio"/>
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	<input type="radio"/>
	4	【④災害時医療と薬剤師】	<input type="radio"/>
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 02月26日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<ul style="list-style-type: none">・ロールプレイでは患者さんがなぜ副作用をきいてきたのかまで考えていなかった。患者さんの言葉の背景にはどのような不安や気持ちがあるのかなるべく汲み取れるよう意識して会話したい。・薬歴を見落としている部分ある。目を通してはいるが完全に理解したうえで服薬指導するところまで到達できていない。・散剤の計算があやしい。「主薬量」の記載を見落としがち。濃度が違う散剤で調製することもあるので注意する。・SOAPをうまくまとめられなかつた。自分が会話内容を忘れないように漏れなく記入しようとして、Sが膨らみすぎてしまったので、SとOをしっかり区別し、ほかの薬剤師が投薬時に薬歴を確認する際に見やすくまとめるよう心掛ける。SOAPをしっかりできるようになるためにも、薬物治療学的考察を自分の言葉で日誌にできる範囲で書くようにしたい。・小児在宅医療では、自分は見学するだけで終わってしまい、患者さんやご家族と積極的に話す姿勢で参加できていなかつた。・FAXでの疑義照会の段取りがよくわからっていない。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>今日はちょっと忙しくてバタバタしました。そんな中一緒に頑張っていただいて本当にありがとうございます。</p> <p>小児医療の現場についてのコメント、じっくりと読ませていただきました。よくある言葉として「数多くの中の患者さんの1人」だけれども患者さんにとってはそうではなく、またそう思われてしまう事は決して良いとは思えない。</p> <p>今の気持ちを忘れないようにしていきましょう。</p> <p>智弘 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 02月27日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.1°C	
欠席・遅刻・早退の理由		
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00	調剤 疑義照会 疑義照会 昼休み 調剤 一包化 調剤 一包化 調剤 一包化 服薬指導 服薬指導 1日の振り返り
場所	薬局(よもぎ薬局)	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(1)名	
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(1)名	

日誌

日誌 02月27日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> ・SOAPを自力で書く</p> <p><実習内容> ・総合病院宛に疑義照会のFAXを作成した。ロケルマの薬価が高額なのでポリスチレンスルホン酸 Ca への変更が可能かどうかという点と、患者さんが飲んでいなかった薬について調整できないかという点についての内容で作成した。最終的には近隣の医師が患者さんを説得したこともあり、今回はロケルマは変更せず、疑義照会は行わないとになったが、必要な点は後日トレーシングレポート（服薬情報提供書）を作成し、病院と情報共有することになった。 ・患者さんの薬が一包化しても大丈夫なものか1つ1つ調べた。インタビューフォームで無包装時の安定性に関する情報を集めた。 ・服薬指導で、一包化した薬剤と、ロケルマの使い方を説明した。初めて使う薬はきちんと飲めているか、副作用が出っていないかを電話したり、ご家族と会話をして調べていくことになった。</p>
----------	--

日誌

日誌 02月27日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】 [全実習を通して評価 A (1)、(2) 参照]	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤	2	【②処方せんと疑義照会】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】 [A 医薬品の調製]	<input type="radio"/>
	6	【⑥安全管理】 [B 処方監査・医療安全]	<input type="radio"/>
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】 [C 服薬指導]	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】 [E 3 (1) 参照] [C 服薬指導・D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	9	【③処方設計と薬物療法の(処方設計と提案)】 [D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
	10	【④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)】 [D 薬物療法の実践]	<input type="radio"/>
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
チーム医療への参画		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	<input type="radio"/>
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅(訪問)医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画】	
独自評価	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 02月27日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<ul style="list-style-type: none">・事前にロケルマの使い方をよく見ておかなかつたため、わかりやすく説明することができなかつた。・情報の収集がスムーズにできていない。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>湯口さんの緊張感がだいぶ取れてきたように感じました。患者さんとの程良い距離感を見つけていってください。</p> <p>この患者さんことをフォローしていくにあたって、今の薬局における薬物療法において非常に重要な項目が多々出てきているように思います。患者さんの胸を借りて、ただ患者さんに不利益が生しないように一生懸命頑張っていきましょう。</p> <p>智弘 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 02月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	出席 36.6°C																								
欠席・遅刻・早退の理由																									
1日のスケジュール	<table border="1"> <tr> <td>8:00</td><td></td></tr> <tr> <td>9:00</td><td>疑義紹介FAX作成</td></tr> <tr> <td>10:00</td><td>大腸がんの化学療法調べる</td></tr> <tr> <td>11:00</td><td>漢方</td></tr> <tr> <td>12:00</td><td>苦い薬試食</td></tr> <tr> <td>13:00</td><td>漢方</td></tr> <tr> <td>14:00</td><td>服薬指導</td></tr> <tr> <td>15:00</td><td>ひるやすみ</td></tr> <tr> <td>16:00</td><td>OTC 消毒</td></tr> <tr> <td>17:00</td><td>SOAP</td></tr> <tr> <td></td><td>SOAP</td></tr> <tr> <td></td><td>1日の振り返り</td></tr> </table>	8:00		9:00	疑義紹介FAX作成	10:00	大腸がんの化学療法調べる	11:00	漢方	12:00	苦い薬試食	13:00	漢方	14:00	服薬指導	15:00	ひるやすみ	16:00	OTC 消毒	17:00	SOAP		SOAP		1日の振り返り
8:00																									
9:00	疑義紹介FAX作成																								
10:00	大腸がんの化学療法調べる																								
11:00	漢方																								
12:00	苦い薬試食																								
13:00	漢方																								
14:00	服薬指導																								
15:00	ひるやすみ																								
16:00	OTC 消毒																								
17:00	SOAP																								
	SOAP																								
	1日の振り返り																								
場所	薬局(よもぎ薬局)																								
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(1)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(1)名																								
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(1)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(1)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(1)名																								

日誌

日誌 02月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容	<p><実習目標> 薬物治療を考察できるようになる</p> <p><実習内容></p> <ul style="list-style-type: none">・大腸がんで患者さんの処方箋の疑義照会FAXを作成した。クレアチニンクリアランスを計算して、リセドロン酸ナトリウム錠を服用して問題ないか、検査値に関する問い合わせを文書にした。・漢方では半夏瀉心湯のうがいを体験した。・苦い薬の試食でゾピクロンを粉碎し試食した。味で患者さんの服薬コンプライアンスは変わるので、事前に苦い薬や飲みづらそうな薬はできる限り体験しておこうと思った。・服薬指導ではアミティーザと、一包化した薬について患者さんとご家族にお話した。脳梗塞で退院後、排便・排尿のコントロールや誤嚥に不安がある患者さんについてSOAP形式で考察した。
----------	--

日誌

日誌 02月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	<input type="radio"/>
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	<input type="radio"/>
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	<input type="radio"/>
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	<input type="radio"/>
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	<input type="radio"/>
薬物療法の実践		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	<input type="radio"/>
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	<input type="radio"/>
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	<input type="radio"/>
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	<input type="radio"/>
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	<input type="radio"/>
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
独自評価	4	【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	<input type="radio"/>
	5	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 02月28日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	<ul style="list-style-type: none">授業で習っていたはずのことを全然実務で引き出せていない。高齢者高血圧で、誤嚥性肺炎を繰り返す高齢者にはACE阻害薬が第一選択だった！！知識が全然定着していないことを実感した。循環器と脳血管障害の範囲はしっかりと休日に学校でやったことを見直して、今日出てきた薬の添付文書に目を通す。知っているつもりだったが名前しか覚えてない漢方がたくさんあった。臨床でよく使われる漢方(大建中湯、半夏瀉心湯)と有名なOTC(葛根湯、麻黄湯、抑肝散)を休日によく見直す。
添付資料	
薬剤師のコメント	<p>座学で学んだことに、On the job trainingで気づけないと悔しいですよね～。日誌からその気持ちが漏れ出ているようです。</p> <p>ただ、とても大切なこととして、今回のことと逆に発想してみてほしいです。つまり、</p> <p>『今までこれからも薬学について学ぶことはその先に患者さんが紐づいている』</p> <p>という事です。 病院実習を終えて、研究や卒試や国家試験で学ぶすべてに患者さんをイメージして学ぶときっと違ってきますよ。是非！</p> <p>智弘 登録者：小川 智弘</p>
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.1°C 喉が痛い 寒い
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00
場所	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名

日誌

日誌 03月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 03月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月01日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	

日誌

日誌 03月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

出欠状況	欠席 36.1°C 鼻水 喉
欠席・遅刻・早退の理由	
1日のスケジュール	8:00 9:00 10:00 11:00 12:00 13:00 14:00 15:00 16:00 17:00
場所	
関わった疾患(処方解析・投薬計画などを実施した疾患等)とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名
服薬指導を実施した疾患とその人数	がん(0)名、高血圧症(0)名、糖尿病(0)名、心疾患(0)名、脳血管障害(0)名、精神神経疾患(0)名、免疫・アレルギー疾患(0)名、感染症(0)名、その他(0)名

日誌

日誌 03月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

具体的な実習内容

日誌

日誌 03月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習に関する能力	No	項目	選択
		薬学臨床の基礎	
	1	【②臨床における心構え】〔全実習を通して評価 A（1）、（2）参照〕	
処方せんに基づく調剤		処方せんに基づく調剤	
	2	【②処方せんと疑義照会】〔B 処方監査・医療安全〕	
	3	【③処方せんに基づく医薬品の調製】〔A 医薬品の調製〕	
	4	【④患者・来局者対応、服薬指導、患者教育】〔C 服薬指導〕	
	5	【⑤医薬品の供給と管理】〔A 医薬品の調製〕	
	6	【⑥安全管理】〔B 処方監査・医療安全〕	
		薬物療法の実践	
	7	【①患者情報の把握】〔C 服薬指導〕	
	8	【②医薬品情報の収集と活用】〔E 3（1）参照〕〔C 服薬指導・D 薬物療法の実践〕	
	9	【③処方設計と薬物療法の（処方設計と提案）】〔D 薬物療法の実践〕	
	10	【④処方設計と薬物療法の実践（薬物療法における効果と副作用の評価）】〔D 薬物療法の実践〕	
実務実習記録による評価項目	No	項目	選択
		チーム医療への参画	
	1	【②地域におけるチーム医療】	
		地域の保健・医療・福祉への参画	
	2	【①在宅（訪問）医療・介護への参画】	
	3	【②地域保健（公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動）への参画】	
独自評価		【③プライマリケア、セルフメディケーションの実践】	選択
	4	【④災害時医療と薬剤師】	
独自評価	No	項目	選択

日誌

日誌 03月02日

東邦大学

学籍番号(1021236)

氏名(湯口 万里奈)

この一日で実習したことおよび考えたことを箇条書きで記入してください。

実習にて達成できなかった点 (次回への反省・改善点)	
添付資料	
薬剤師のコメント	
添付資料(薬剤師)	